

日本の高校にあたる台湾の新  
竹県立六家高級中学の一、二年  
生二十八人の修学旅行団がみな  
かみ町を訪れた。

利根商業高校体育館で歓迎セ  
レモニーが開かれ、同高吹奏楽  
部が演奏する中、県のマスコッ  
トぐんまちゃんが一行を先導し  
て入場した。台湾の生徒はダン  
スを披露して応え、利根商生と  
昼食をともしたり、ドッジポ  
ールをして交流を深めた。

一行は、同町の農家七軒に分  
かれて宿泊。巻きずしやうどん  
作りなどのほか、餅つき、雪遊  
び、日帰り温泉での入浴など、  
それぞれに日本の田舎暮らしを  
体験した。

群馬県が国際交流促進と観光  
振興、地域経済の活性化を目的  
に、台湾から受け入れる募集型

## 台湾から高校生28人

募集型  
旅行  
修学  
の  
県

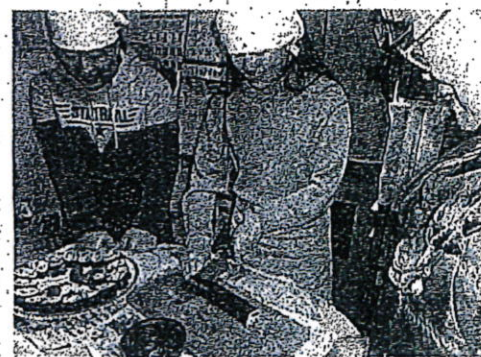


ぐんまちゃんの先導で体育館に入場する台湾の生徒たちを拍手で迎える利根商の生徒ら＝いずれもみなかみ町で

### みなかみ町で交流

修学旅行団で、日本の修学旅行  
のように全員参加ではない。

県観光物産課によると、修学  
旅行団の受け入れは二〇〇二年  
に始まった。台湾全土から年に  
二十回ほど、二十五〜七十人程



宿泊先の農家の女性(右  
端)に教わりながら巻きず  
しをつくる台湾の女子生徒

度の団体を組んで来県し、日程  
には県内の高校生と交流の機会  
が組まれる。近年は、終了後も  
多数の生徒がフェイスブックや  
ツイッターなどのソーシャル・  
ネットワークキング・サーピス  
(SNS)で連絡を取り合い、  
交流を続けているという。